

たかねざわ

議会だより

10

October.2019
No149

ふれ愛
ささえ愛
おもい愛



Contents

表紙写真：ランとも たかねざわ

- 9月定例会…………… 2
- 特別企画1「大田主 石塚さんの想い」… 14
- 一般質問（教育・環境・健康なども議員が問う）… 17
- 特別企画2「RUN伴 福祉高まるたかねざわ」… 22



むら」に向け整備スタート



9月定例会のあらまし

定例会は、9月3日から18日までの16日間の会期で開催。
 第1日目に、決算特別委員会設置（即決）、条例制定6件、条例の一部改正9件、平成30年度決算認定7件、補正予算7件、指定管理者の指定2件、計31議案と諮問1件、報告事項5件が上程され、議案は各常任委員会・特別委員会に付託を決定した。
 第2日目・第3日目は、6人の議員が一般質問を行い、環境施策、土づくりセンター運営、企業誘致、禁煙対策などを取り上げ、質問した。
 第4日目以降に、各常任委員会及び決算特別委員会を開き、付託された議案を審議した。
 最終日に、追加議案（すべて即決）が上程され、工事請負2件、財産取得1件、工事請負契約の変更1件が追加上程された。
 付託された議案と追加された議案の全35件を、原案のとおり可決した。
 なお、今期定例会の傍聴者総数は11人でした。

町のシンボル再生に向け本格的に整備工事が始まる

新たな指定管理者が決定！

経営手腕はいかに？

親水公園グランピング場工事着工へ

議案第31号

「道の駅たかねざわ元気あつぷむら」

指定管理者の指定

追加議案第2号

「工事請負の締結」

令和2年4月より、新たな指定管理者による運営が開始され、滞在型の道の駅として、「行きたくなる・ここにしかない空間」を創出し、地域・経済の活性化や農業・観光の振興などの役割を担います。

指定管理者
株式会社
塚原緑地研究所

指定管理料
2億2000万円
(5年間)



稼働停止中の元気あつぷむら

新たな指定管理者の経営手腕が問われるが如何に

親水公園に滞在型宿泊施設（トレーラーハウス）15棟とレンタル棟などの新築建屋3棟、既存建築物改修2棟を行います。

工事期間
令和元年9月19日から
令和2年3月19日

請負金額
4億4万円

請負業者
渡辺・荻原特定建設工事共同企業体



これから整備される親水公園 どんな景観になるのか？



グランピングの整備イメージ

令和2年4月「道の駅 元気あっぷ」プレオープン

町民の憩いの場

本館温泉施設リニューアル

追加議案第1号 「工事請負の締結」

「元気あっぷむら」本館の浴室などの改修を行い、清潔感のある浴室・脱衣所にするため工事を行います。

工事期間

令和元年9月19日から令和2年3月16日

請負金額

7920万円

請負業者

株式会社熊谷組

工事内容

浴室

床石の研磨・クリーニング、天井と壁の洗浄・樹脂塗装など

脱衣所

床の張替え（発砲塩ビシート）、壁の塗り替えなど



キレイに蘇える浴室に期待



浴室の現状を確認（汚れ・腐食が見られた）

追加議案第3号 「財産の取得」

「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」に関する備品を購入するため、4つのコンセプトを押さえた最適な備品を購入するため、選定業者と契約を結びました。

備品購入対象施設

- ① 道の駅情報提供施設
- ② 本館前交流広場（トレーラーハウス含む）
- ③ 親水公園グランピング施設

4つのコンセプト

- ① 独自性
（栃木県、高根沢町ならではのここにしかない空間）
- ② デザイン性
（高根沢町の地域性との調和）
- ③ 訴求力
（20代の若者層、30〜40代のファミリー層に訴えかける、おしゃれな備品）
- ④ 品質
（低価格及び品質の確保）

契約者

株式会社カルチャーバンクスタジオ

契約金額

5934万円

「いごじか味わえない空間演出

来場者への「おもてな・し」へ

9月定例会の目玉 決算審査

平成30年度の決算審査は、3日間に渡り審議しました。

その結果、財政健全判断は適正とされ、各事業ごとに適切に予算執行されていることを確認しました。

ただし、本町の総合戦略進捗状況を見ると、中小企業支援制度の活用が無いことや、県内婚姻率1位及び出生率4位という状況を活かしたPRなどが不十分で、企業立地や定住人口に繋げられる施策展開ができると思うことから、これからの更なる有効施策に発展することが望まれる状況でもありました。

決算特別委員会で審議した概要をP10に載せてあります。

また、10月発行の「広報たかねざわ」で決算内容を記載しているので、合わせてご参照ください。

広報たかねざわ
10月号QRコード



子育ての負担軽減で、安心して産み育てられる社会へ

10月から幼児教育・保育が無償化



子どもは国の宝です

無償化の背景と 条例改正

国は、令和元年10月1日より幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料を無償化にしました。幼児教育・保育の無償化は、子どもたちに対し、「生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の機会を保障する」とともに、「子育て世代の経済的な負担軽減を図る」ことを目的に実施されます。町は、幼児教育・保育の無償化に対応した事業を行っていくために、国の基準に合わせて条例の一部を改正しました。

改正ポイント① 無償化の対象年齢

今回の改正で無償化の対象児童は、3歳～5歳児クラスの全ての児童と、0～2歳児クラスの住民税非課税世帯の児童です。

無償化に伴う 財政措置

保育料等の無償化による財源として、10月から消費税2%増税で見込まれる5兆円強の増収分の一部が充当されます。今まで保護者が負担していた、副食費を除いた保育料と副食費の減免分を、国(1/2)、県(1/4)、町(1/4)が負担をします。

改正ポイント② 副食費の 支払い方法

従来、保育料と一緒に負担していた副食費は、保育料と切り離され、保護者が施設へ支払うことになりました。

その他の改正内容 連携施設の 基準緩和

改正の主な内容は、前回の議会定例会で改正された「保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の、家庭的保育事業者等の連携施設に対する基準緩和等の内容を追加するものです。

改正ポイント③ 副食費の免除

副食費は、3歳～5歳児クラスの児童のみの負担で、年収360万円未満の世帯と、算定基準に該当する全ての世帯の第3子以降の児童は免除されます。

町負担分は、今年度限り、「子ども・子育て支援臨時交付金」として国が負担します。



消費増税による
財政措置
QRコード



町HP
無償化周知ページ
QRコード



本町で唯一の小規模認可保育事業者「ゆうゆうランド」
卒園後の連携施設は確保されている



アレルギーのお子さんも
食べられるハートカレー
(給食)

ちよっと待った!
そもそも
条例ってなあに?

条例とは、地方公共団体の、議会の議決によって制定される「自治立法」のことで、条例も法の一つです。

町が行う事務は、国の法令に違反しない限りで、条例を制定することができまます。

また、町民に義務を課したり、町民の権利を制限するには、原則として条例を定めなければなりません。

他にはない

町独自の条例

「ハートごはん条例」

この条例は、平成19年に制定され、「食育と地産地消の推進」を目的に定められました。

町民の負託に応えた各議員の賛否!!

令和元年度9月定例会 議案と審議結果

9月定例会
委員会審議
議会報告会
特別企画1
一般質問
特別企画2

上程された議案&概要 賛成：○ 反対：×	澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木伊佐雄	中山喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二	阿久津信男	結果	掲載ページ
※ 齋藤武男議員は議長のため採決に加わりません。																	
条例の制定または一部改正																	
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	—
道の駅たかねざわ元気あっぷむらの設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P2 P9
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P4 P8
指定管理者の指定																	
道の駅たかねざわ元気あっぷむらに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P2 P9
平成30年度一般会計歳入歳出決算																	
歳入は前年度対比2,410万円減少の109億4,466万円 歳出は前年度対比1億3,061万円減少の103億5,274万円	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P10 P11
令和元年度一般会計補正予算																	
歳入歳出それぞれに1億5,872万円を追加 予算総額は107億4,830万円に補正	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P7 P8 P9
工事請負契約の締結																	
元気あっぷむら浴室等改修工事	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P3
元気あっぷむら滞在型宿泊施設建設工事	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P2
工事請負契約の変更																	
中央図書館屋上防水等改修工事の一部変更	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	—
財産の取得																	
道の駅たかねざわ 元気あっぷむら備品の取得	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	P3

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

また、全議案の採決結果を確認したい場合は、高根沢町ホームページ内の「高根沢町議会」を開き「議決結果と採択結果」をご覧ください。か、誌面掲載のQRコードでアクセスしてください。



表紙の説明

今回の表紙を飾った写真は、9月21日に開催された「RUN^{ラン}伴^{とも}」で撮影されたものです。(写真はRUN伴たかねざわ実行委員会より提供)

このイベントは、本町のみならず、全国の市町村で行われており、「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」を合言葉に、認知症の人へのマイナスイメージを持ってしまいがちな地域の方も、喜びや達成感を共有することを通じて、認知症の人も地域で「伴^{とも}」に暮らす大切な隣人であることを実感できるよう、毎年開催されています。

本町では今年で3回目の開催で、福祉施設などを巡り、様々な方と触れ合う事ができました。



令和2年度の経営方針

「くらし高まる高根沢」の向上へ

新たな総合戦略を樹立



約4万人が参加した
ロックサイドマーケット（昨年12月）

平成28年度から、主な施策として「安心安全なまちづくり（住環境整備・防災等）」や「出産前から切れ目のない子育て支援（18歳まで医療費無料化・子育て世代包括支援センター）」、そして「駅前の賑わい創出（多様なイベントの開催）」などに取り組んだ。

結果、「交流人口の増加」や、県内トップレベルの「婚姻率と出生率」を達成し、また「人口減少の下げ止まり」などの成果を上げ、県外・町外からも注目され、認知度が大きく向上することができた。

第1期総合戦略
「くらし高まる」
まちづくり

第2期総合戦略は
高根沢版「地方創生」

来年4月にプレオープンする、新しい元氣あっぷむらで、温泉・食事・遊び等と、イベント・体験ツアー等を組み合わせ、様々な取り組みを展開し、来たい、滞在したい、拠点づくりをしていく。

戦略② 「道の駅たかねざわ元氣あっぷむら」賑わい創出

人口の推計結果

	基準人口	R2.4.1予測	R3.4.1予測	R8.4.1予測
総計	※31,411現在 29,573	29,443	29,328	28,553
年少人口 (0歳-14歳以下)	3,640 (12.3%)	3,594 (12.2%)	3,519 (12.0%)	3,297 (11.5%)
生産年齢人口 (15歳-64歳以下)	18,709 (63.3%)	18,522 (62.9%)	18,396 (62.7%)	17,452 (61.2%)
老年人口 (65歳以上)	7,224 (24.4%)	7,327 (24.9%)	7,413 (25.3%)	7,784 (27.3%)

戦略① 子育て支援

子育ての分野の取り組みとして、出生率を上げるため、結婚から出産・育児までの、きめ細かな支援を行い「人口の自然増加」へ向けた新たな独自施策を展開していく。

戦略③ 情報の発信力強化

第1期の総合戦略で、さまざまな施策を展開してきたが、情報発信力の不足が共通する課題となっている。

「必要な時に、必要な情報を、必要な方々へ届ける」をイメージしながら、今までの情報ツール「広報たかねざわ」や「町ホームページ」だけではなく、新たなツールを含め、情報発信力の強化に取り組む。



情報満載の広報たかねざわ

議会として

町民の暮らしの向上に向け、多様な考えの中で、町の施策をボトムアップできるような提言し、「くらし高まるまちづくり」に繋げていきたいと思えます。

傍聴者の声

傍聴した感想をお聞かせください m(>.<)m
その声を真摯に受け止め、応えていきます!!

私は若いころから政治に興味があり、友人知人と新聞の記事などを題材に話し合うのが好きでした。

最近、町政に関心を持つようになり、昨年6月から傍聴させていただき、今回で6回目です。

9月議会では、一般質問だけでなく常任委員会も傍聴しました。

各議員の事細やかな質問に、町長はじめ執行部の職員の皆さんが、真剣に答弁している姿に大変感銘を受けました。

「頑張れ高根沢」とエールを送りたいと思います。

また、もっと勉強したいとの思いから、宇都宮市の議会の一般質問も傍聴し、傍聴人は約40人で、半分以上は御婦人でした。

高根沢町も、明るい魅力あるまちづくりに向け、町長を中心に行政と町民がスクラムを組んで、子ども達の未来に向け、夢と希望があふれるまちづくりの為に頑張りたいと思います。



木村祐喜さん
お住まい 平田

総務常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容は、

歳入

- 個人町民税 6500万円
- 固定資産税 1400万円
- 軽自動車税 220万円
- 地方特例交付金 1237万円
- 財政調整基金繰入金 △2億1768万円
- 森林環境譲与税 132万円

歳出

- プラスチック回収 再資源化事業費 △695万円
- 防災無線
- デジタル化事業費 △7444万円

が主なもので、この他に職員給与費、臨時財政対策債などの補正がありました。

一般会計補正予算審議

※臨時財政対策債

Q 臨時財政対策債の減額補正になつた要因は？

A 企画課長

国の財政計画により地方交付税を増やし、臨時財政対策債を減額する方針によるものである。

※臨時財政対策債とは

地方一般財源の不足を補うために、特例で発行される地方債（借金）のこと。償還費用（返済）はすべて国が負担。

※財政調整基金

Q 補正後の財政調整基金の残高はいくらなのか？

A 企画課長

9億4084万円の残高となる。

※財政調整基金とは

自治体が、財源に余裕ある年に積立て、不足する年に取り崩すことで、計画的な財政運営を行う為の貯金。

国土や国民の命を守るため、新たに森林保全の仕組みが始まる

議案第4号

森林環境譲与税 基金条例の制定



豊かな森林環境は命を育む

はじめに

2017年末に、平成30年度税制改正の大綱で、森林環境税及び森林環境譲与税の創設が決まりました。

森林環境譲与税は各自治体に分配され、森林整備などの取り組みに使われます。

また、森林環境税は国民の一人一人に森林を支えていただき、次世代に豊かな森林を引き継いでいくための仕組みとして、新たに創設されます。

新たな税制の経緯

平成27年の地球温暖化防止に向けた「パリ協定」の採択や、昨今の災害の激甚化等により、林野庁は「市町村が主体となつた新たな森林整備の仕組みの検討」を進め、総務省は「地方財政審議会に検討会設置」し、制度設計の検討を進めてきた。その結果、「平成31年度からの税創設」との結論に至った。

主な質疑

Q 「とちぎの元気な森づくり県民税」との違いは？

A 企画課長

県民税は、本県の大切な森林を、県民全体の理解と協力の下に守り育て、元気な森を次の世代に引き継いでいくことを目的としている。

譲与税は、パリ協定による地球温暖化対策のための環境保護を考慮することが目的となっている。

議案第10号 特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

改正の概要

- ・ 地方公務員法の改正で、
- ・ 区長
- ・ 地域おこし協力隊
- ・ 外国語指導助手
- ・ 交通指導員
- ・ その他の非常勤職員

は、特別職非常勤職員の任用要件に該当しなくなるため、条例より削除される。

主な質疑

Q 区長報酬の廃止に伴い、今後の措置を検討しているが、状況は？

A 総務課長

現在も検討中だが、新体制では区長に個別に支出せず、これまで区長報酬として支出していた金額を、自治会連合会に支給し、各自治会に分配するような仕組みを検討している。



森林環境税及び森林環境譲与税のしくみ



林野庁の情報誌「林野」のQRコード
森林環境税・譲与税の解説

教育福祉常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容は、
歳入

・子育てのための施設
等利用給付交付金
3763万円

・子ども、子育て支援
臨時交付金
2975万円

・公立保育園副食
材料費保護者負担金
270万円

歳出

・マイナンバー
システム運営費
429万円

・障害福祉サービス費
支給事業費
3320万円

・小中学校施設修繕
改修事業費
675万円

・東小学校校舎
解体事業費

△1億1094万円

が主なもので、その他に
職員の人件費、特別会計
の繰出金等がありました。

一般会計 補正予算審議

安心安全に向けて小中学 校の定期点検

Q 小中学校の修繕・
改修事業費が増
えた要因は？

A 学校教育課長
栃木県の基準では、学
校施設の定期点検が必要
とされていないが、町で
は3年に1度の定期点検
を実施し、児童生徒の安
全を確保する。
今回においては、阿久
津小学校の点検委託を行
い、修繕工事を実施する
為の補正を行う。



安心安全で学べる学校へ！ (阿久津小学校での授業風景)

旧東小校舎に アスベストが使用



校舎解体が予定されている旧東小学校

Q 校舎解体事業費
が減額した要因
はなにか？

A 学校教育課長
調査の結果、アスベス
トが含まれていることが
判明した為、調査を丁寧
に実施してから、改めて
事業費を精査し、解体工
事を実施する。

議案第13号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事 業の運営に関する基準を定める条例の改正

幼児教育・保育の無償化に伴い 副食費の取り扱いが変更になる

改正の概要

連携施設の基準緩和と
幼児教育・保育の無償化
に伴い、従来、保育料と
一緒に負担していた副食
費は、保育料と切り離さ
れ、保護者が施設へ支払
うことになる。

質疑

Q 給食費は、無償
化にはならず、施
設に払い込むため、職員
の事務量が増えるのでは
ないのか？

A 子育て課長
改正は、副食費が保育
料から切り離されるため、
町は徴収することができ
ないため、各保育園が対
応することになる。
事務の簡素化に向け情
報を共有していく。



栄養バランス満点の給食を食べる子どもたち (にじいろ保育園)

建設産業常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容として、

歳入

- ・社会資本整備
総合交付金

△635万円

歳出

- ・土づくりセンター
維持管理費

110万円

- ・下水道会計出資金

627万円

債務負担行為補正

- ・「道の駅たかねざわ
元気あつぷむら」
指定管理委託

① 期間

令和2年度から
6年度までの5年間

② 限度額

2億2000万円
(4400万円×5年)

が主なもので、この他に職員給与費などの補正がありました。

一般会計 補正予算審議

「土づくりセンター」
再稼働なるか？

Q 土づくりセンター
のコンサルティン
グ業務委託料は稼働継続
に向けたものか？

また、コンサルティン
グの委託先は？

A 産業課長

簡易的な施設への建設
に向け、調査等をするた
めの費用であるが、その
調査等の結果を踏まえ、
最終的に簡易的施設を建
設し再稼働するのか廃止
するのかを決定していく。
委託先は、堆肥セン
ターや類似施設等の建設
に係る、コンサルティン
グ業務に実績のある業者
を選定したい。



有機肥料「たんたんくん」の復活なるか

町の方針が決定！ でも確定ではない

町は、「簡易的な施設」
の建設を進めていく方針
を決定。

- ・解体費等を除く試算は、
3億6000万円
- ・簡易的な施設建設費
- ・機器導入費用
1705万円

の見通ししているが、
・適正規模や構造
・管理・運営方式
・利用者負担金
・堆肥の原料の調達
等を協議し、協議が整わ
なかった場合は、廃止を
検討する。

議案第5号

「道の駅たかねざわ 元気あつぷむら」の
設置・管理に関する条例の制定

目的・事業内容・管理内容などを明確にし
「道の駅」オープンを確かなものに

条例の概要

- この条例は、
- ・設置目的
- ・施設・管理
- ・目的とする事業
- ・利用料金
- ・損害賠償の義務
など、全15条で構成され
ています。

主な質疑

Q 温泉ゾーンや食の
ゾーンなど、5つ
のゾーンをすべて運営し、
その利用料金は指定管理
者の収入になるのか？

A 元気あつぷむら課長

指定管理者には、5つ
のゾーンすべて運営を委
託する。
また、利用料金は指定
管理者の収入となる。

Q 指定管理委託料の
算定根拠は？

A 企画課長

指定管理要求水準書の
中で、指定管理委託料の
基準を設けており、それ
に基づいて算定している。

指定管理者 選定までの経緯

第1回

選定委員会（4月）
（要求水準書等の協議）

第2回

選定委員会（5月）
（書類審査&プレゼン）

第3回

選定委員会（8月）
（候補者の選定&答申）

を経て、9月定例会に議
案上程および議決。
これらを行った結果、
指定管理者を認定した。

指定管理者の概要

・名称

(株)塚原緑地研究所

・所在地

千葉県千葉市

・従業員数

198人

・会社概要

食品営業、酒類販売、
旅館業経営、公衆浴場営
業、警備業、造園工事な
どの許認可を受け、千葉・
茨城・神奈川・山梨・長
野県などで、入浴・宿泊・
観光・アウトドア・都市
農村交流施設など、約20
施設の指定管理業務の実
績があります。



店舗兼文化交流施設・広場完成予想図

しっかりチェック！

額176億6554万円を認定

決算特別委員会を設置し、全議員で3日間に渡り慎重審査を行いました。

平成30年度の決算内容を、代表監査委員からの報告や、決算特別委員会で全会計の使用やその効果、さらに町の重点目標である「教育環境や子育て環境づくり」・「住環境整備」といったテーマなどに着目し、全議員で慎重に審査を行った結果、賛成多数で承認されました。

質問総数は206件ありましたが、一部抜粋して審議内容を掲載します。

《平成30年度 各会計別決算 総括表》（この表は当初予算に対するの執行率を表しています。）

名目	当初予算総額①	決算総額②	差引額②-①	執行率
一般会計	109億9700万円	103億5274万円	△6億4426万円	94%
国民健康保険特別会計	25億6183万円	26億6707万円	1億0524万円	104%
後期高齢者医療特別会計	2億6499万円	2億6407万円	△92万円	99%
介護保険特別会計	21億2179万円	20億9951万円	△2228万円	98%
宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計	2億7441万円	1億7496万円	△9945万円	63%
公営企業会計				
水道事業会計	7億9329万円	8億0365万円	1036万円	101%
下水道事業会計	12億4882万円	13億0354万円	5472万円	104%
合計	182億6213万円	176億6554万円	△5億9659万円	96%

協会。
委託先は、日本サッカー協会。

効果としては、子どもたちの夢が、将来につながる一助となっている。

国内のトップアスリート選手（サッカー・ボクシングなど）と一緒に、体育館等でスポーツを体験。

A 学校教育課長



楽しいワクワクの特別授業

Q 事業内容とその効果及び委託先は？

夢の教室開催事業
決算額 108万円

②支払い方法が、償還払いから、窓口で支払いをしない現金給付となったこと。

（中学3年生までだったのが、高校3年生までに拡大）

①助成対象が拡大されたこと。

前年度対比で1.5倍の増額となり、その主な要因は、次の2点が挙げられる。

A じょうみらい課長

Q 医療費助成は前年対比増額になっているが、その伸び率及びその要因は？

こども医療費助成事業
決算額 1億2244万円

小学校に、フイジー島から2名、中学校に、ジョイトーク派遣会社から3名の計5名である。

A 学校教育課長

Q 外国語指導者は何人でその効果は？



ALTとの触れ合いで英語が身近に

ALT事業
決算額 1769万円

町のお金の使い方を 平成30年度の全事業総



補助金利用で花やかに（上高中部公民館）

公民館活動推進事業

決算額 99万円

Q 補助金の交付目的とその効果は？

A 生涯学習課長

交付額は一律3万円で、各自治公民館でコミュニティ活動が活発になることを目的としている。特に花壇の整備やお祭りの開催など、地域活動が活発につながる効果があった。

新規就農者確保事業

決算額 1334万円



イチゴ栽培に汗を流す新規就農者（中郷）

Q 対象者及び補助額とその効果は？

A 産業課長

対象者は9名で、補助限度額は、150万円。一定の要件を満たす新規就農者に、農業を開始してから経営が安定するまでの最長5年間、投資資金として交付される。

道普請整備事業

決算額 506万円

Q 整備箇所及び重機借り上げ料の支払いは？

A 都市整備課長

整備箇所は3か所で、上高根沢地区180m、大谷地区300m、東高谷地区320m。また、重機の借り上げ料の支払いは、地元で重機を持つている方がいればその方に、また地元で持っている方がいない場合には、依頼した業者に支払いをしている。



地域の力を合わせて農道整備（上高根沢宿地内）

町税収納対策

滞納額 1億739万円

Q 滞納額の収納率を上げる対策は？

A 税務課長

対策として、即差し押さえ等の滞納処分をするということではなく、納税相談を進めながら、滞納の解消に努めている。また、滞納金額が大きな困難事案は、宇都宮県税事務所と協働徴収の取り組みを行っている。

町税の推移

（単位：千円・％）

年度区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率			収入対前年度増減率
					現年課税	滞納繰越	計	
平成30年度	4,462,900	4,351,709	3,796	107,395	99.10	36.80	97.51	△0.11
平成29年度	4,474,744	4,356,535	3,510	114,699	99.11	31.77	97.36	0.46
平成28年度	4,457,198	4,336,592	4,328	116,278	98.96	34.44	97.29	3.33
平成27年度	4,316,978	4,196,642	5,283	115,053	99.03	38.20	97.21	△5.00
平成26年度	4,551,393	4,417,389	5,201	128,803	98.76	36.34	97.06	4.07

決算書は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数及び予算執行も正確かつ適正であると認められました。

財産に関する調査は、公有財産、物品、債券及び基金について、財産台帳と照合した結果、計数はいずれも正確であり、その管理及び運用についても適正であると認められました。

引き続き、課題を詳細に分析し、ニーズに応えられる対策を講じるため、町民との協働のもと、限られた財源の中で事業の選択と集中を図り、魅力を感じていただける町づくりを進め、効率的かつ効果的な行政運営に努められるよう望み、審査意見のまとめとします。



監査委員の審査意見
代表監査
寺田 光夫氏

より活発な議会へ向けてリメイク

議会活性化特別委員会 中間報告

議会の活性化へ

平成30年12月に特別委員会が設置され、「開かれた議会」と「より一層の議会活性化」に向け、

議会が行使できる権限の活用や、より良い議会運営に向けた活性化推進施策として

1. 議員定数
 2. 常任委員会の構成
 3. 一般質問
 4. タブレット端末導入
 5. 議員の資質向上研修
 6. 議員間協議
 7. 会派
 8. 他市町先進事例研究
 9. その他に委員会ですべき要と認めた事項
- これらの9項目に対し、協議、研究を重ねてきました。



議会の活性化なるか

時代に合った議会運営

議会運営

議会のICT化が全国の議会に進んでいる現状を踏まえ協議しました。

タブレット導入のメリットは、

- ・ペーパーレス化
 - ・情報の共有
 - ・住民への理解促進
 - ・災害時等の緊急時対応
 - ・事務局職員の負担軽減
- などがあげられます。

- ・デメリットは、情報の漏洩
- ・機器操作の対応
- ・導入費と利用費の費用対効果が見えづらい
- ・などがあります。

タブレット導入は、便利な機器を有効活用し、時代の変化への対応をしっかりと捉え、メリットを最大限活かす事で、デメリットは克服できると考え、予算要求に向けて進めていく方針です。

日常調査の重要性

日常調査の重要性

他市町の先進事例研究については、各常任委員会で行政課題を捉えた日常調査テーマのとり、現在も他市町への調査・研究を行っています。

各議員が捉えている行政課題については、個人での調査が当然であることから、先進事例研究は必要ないとの意見で一致しました。

「議員間協議」

「議員間協議」

議案について、より良い合意形成を行うため、様々な観点から全議員間で議論を深め、議会として説明責任を果たすことを目的としました。

また、議案のみならず住民意見からなる政策展開等においても、全議員間で協議し、政策議論を十分に行うことで住民福祉の向上につなげることを目指していきます。

中間報告の結びに

中間報告の結びに

今回、議会活性化について様々な疑問を解くために、宇都宮大学の中村祐司教授から「議会活性化」や「議員間協議と会派」、「有効的な政策実現」などについて受講し、理解を深めました。

今後、残された設置期間内に、全ての検討事項に対する結論を出し、当議会の活性化と開かれた議会の在り方に対し、最善の結論を見出せるよう慎重かつ丁寧な協議を重ねていきます。



時代の変化に議会も対応しなくては

「会派」

議員が、調査研究をもとに提言等を行う政策集団として、議員の資質向上及び議会の活性化に資するために、会派を結成することで意見の一致を見ました。

会派を設置するにあたり、政務活動費は、導入しないことに当委員会としては決定しました。



議会活性化はいかに（中村教授による講義）

第12回議会報告会

高根沢の未来を創造する町民と議会の懇談会 「カフェ・ド・ギカイ」

日時 8月10日(土) 飯室公民館

内容 6月定例会の内容報告、地域課題ワークショップ 参加者数 6名

飯室の地域課題

今回の懇談会で出された地域課題の特徴としては、道路や樹木に関する内容が多くありました。ワークショップを3段階で行い、課題を共有し、解決に向けて互いに何をすべきか話し合う事ができました。

この度、申し込みいただいた飯室の皆様、大変ありがとうございました。



地域の課題を話し合う様子

ワークショップとは

課題の共有や解決に向けた話し合いをする一つの手法で、1段階目に「お金・時間がかかる、かからない」、2段階目で「ハード・ソフト事業の分類と、町か地域・住民で行うか」、3段階目は「議会で取り上げるか否か、町へ提言か調査・研究が必要か」を話し合います。

課題① 通学路の安全確保

飯室地内の北小学校通学路で、車と接触する可能性がある道路に対し、子ども達の安全を確保するため拡幅してほしい。

所管委員会調査結果 (教育福祉常任委員会)

昨年実施した、「交通安全点検プログラム」での要望事項等を確認したところ、通学路拡幅の要請はありませんでした。

また、町の道路に関する要請をする場合は、行政区长から担当課へ申請でき、議員および議会からの個別の道路案件は受け付けられません。

当委員会として、登下校の安全確保については、どの学校にもある課題と捉え、町内全体を見た形での安全対策を提唱していきます。



早期の白線引き直しが待たれている町道525号線

課題② 町道の整備

飯室地内を走る、町道525号線(元気あつぷむらゝひまわり保育園)と町道434号線(元気あつぷむらゝ鴻野山駅)の白線が消えている。

道路の安全対策のため、白線の引き直しをしてほしい。

所管委員会調査結果 (建設産業常任委員会)

担当課に、課題とする町道への対策状況を確認したところ、白線のライン引き直しは、業者に発注しており、順次施工していく状況ができていくことを確認しました。

交通上の安全につながる事から、進捗状況等を確認していきます。

課題③ 側溝の安全対策

町道434号線の側溝で、鉄製の蓋が老朽化しており、歩行者や自動車が入り込んでしまっている状態です。

鉄製の蓋を、コンクリート製の蓋に変えても良い、安全に歩行、通行できる状況にしてほしい。



側溝の現状調査
全町域の確認を

所管委員会調査結果 (建設産業常任委員会)

現状を確認して、担当課に早急な対応を要請しました。

また、鉄製の蓋だと、同じように腐食等がおきるため、耐久性のあるコンクリート製の蓋、もしくはグレーチングへの交換も提案しました。

また、町内に同じような箇所が無いかの確認と、あった場合の早期交換を提言しました。

課題④ 繁茂した樹木への対応

飯室地内には町道、県道を含め、歩道や道路上に枝木が飛び出しており、通行上の妨げや、障害になっているところがある。

所管委員会調査結果 (建設産業常任委員会)

町は、道路の通行に支障がある樹木で、所有者がいる場合は、剪定や伐採の必要性を伝え、適切な維持管理を行うようお願いをしています。

また、県道の維持管理の要望は、区長から町へ申請をし、町から県へ伝え、対応をお願いします。樹木に関しては、行政機関が所有していれば行政が行いますが、住民の方が所有者であれば、所有者が適切に管理しなければなりません。



仁井田バイパスの歩道の現状(県道10号)



令和の『大嘗祭』 斎田の地に



抜穂の儀を終えて

日本で2人しか経験できない、神聖な儀式に向かう中で、身を清め、真の心で儀式を執り行い、無事に終えられたことに、正直ホツとしています。

目指す農業

「後継者不足」、これは農業をしているところで、大きな課題です。しかし、先祖代々培ってきた農業を守り発展させていき、また地域で力を

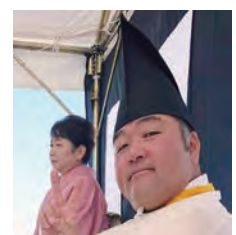
取材を終えて...

「郷土愛」

この度、「斎田（悠紀田）」に本町が選ばれたことは大変名誉な事であり、また郷土を大切に思う石塚さんの話を聞いて、町民一人ひとりが我が町を誇りに思い愛する心を、これを機に高まる事を願いたい。

斎田の選ばれ方

「大嘗祭」に、神に供える新米の産地を全国から2箇所を決める儀式「斎田点定（さいでんでんてい）」の儀を行い、日本を東西に分け、東は悠紀（ゆき）18都道府県、西は主基（すき）29府県から、1か所ずつ選定。決め方は「亀の甲羅占い」で、甲羅を火であぶり、ひび割れの具合で産地を選出し、結果「栃木」と「京都」が選ばれた。



真剣な表情の奥様を横目にピースするおちゃめな石塚さん

大田主に選ばれて

この話が来た時に、「こんな私でいいのか」と思いました。

しかし、御料牧場があることで、以前から皇室の方々が高根沢に訪れて下さっている中で、勝手にながらご縁を感じさせていたでいていました。そんな中で、選ばれたことを嬉しく且つ「誉」であるとともに、この機会を天命と思い、精一杯お勤めさせていただくと決意しました。そして、石塚家にとり、この上ない名誉と誇りをいただいた事に、感謝しています。

郷土への想い

「たんたん田んぼの高根沢」が、米どころとしてメジャーになったこと。

また、今回のことで、我が町が全国に報道され、町民の方々が自分のことのように喜んでくれたこと。更に、多くの方が「高根沢」に対し「郷土愛」を深めてくれたと感じられ、高根沢が大好きな私にとってこの上ない喜びです。今回、奉公者として協力してくれた仲間と共に、高根沢町の農業が発展して、けるよう、更に努めていき、郷土への想いを表していきたいと思えます。



大田主 石塚毅男さん (大谷)

「斎田」とその持ち主「大田主」は、栃木県と京都府の農業団体が推薦し、我が町「高根沢町大谷」と「南丹市八木町」に決定された。

町政を問う！

6人の議員が登場

一般質問者

- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 16
 - ①持続可能な開発目標を取り入れた施策展開を
 - ②自然環境保全に関する施策展開を
- ◆澤畑 宏之 議員…………… 17
 - ①土づくりセンターの今後の運営及びたんたんくんの活用法は
 - ②光陽台町営住宅付近の路上駐車対策や空きスペースの有効利用は
 - ③学童保育の運営状況は
- ◆齋藤 誠治 議員…………… 18
 - ①キリンビール所有地の企業誘致の見通しは
 - ②小中一貫教育の状況とその効果は
- ◆横須賀忠利 議員…………… 19
 - ①阿久津小学校築5年経過後の調査結果を踏まえて
- ◆小林 栄治 議員…………… 20
 - ①本町の自然農村環境の活用方策は
 - ②子どもたちの体験学習状況と今後の計画は
- ◆森 弘子 議員…………… 21
 - ①健康増進法の改正に伴う禁煙対策は
 - ②地域共生社会の実現に向けた取り組みは

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する、通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

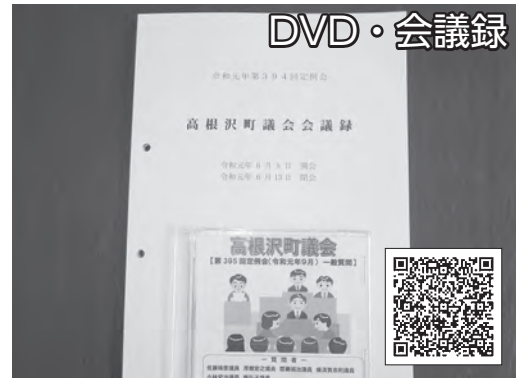
傍聴

9月4日と5日の一般質問の傍聴者7名

傍聴は、皆さんが選んだ議員の考えをリアルタイムで聞くことができます。ぜひ傍聴にお越しください。

今回、傍聴された皆さん、議会活性化アンケートのご協力ありがとうございました。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行しています。
役場・図書館（中央館・仁井田分館・上高根沢分館）で貸出し、閲覧ができます。

「持続可能な開発目標を取り入れた施策展開を

【町長】地域経営計画（後期）策定で



佐藤 晴彦 議員



内閣府SDGsアクションプラン2019



SDGs目標詳細

持続可能な開発目標 (SDGs) について？

2015年に、国連サミットで採択された「だれ一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」実現に向けた国際社会共通の目標です。この目標は、2030年の達成に向け、17項目のゴールに対し、169のターゲットを示しています。

※SDGsについての詳細は、左記のQRコードにアクセス

9月定例会 委員会審議 議会報告会 特別企画1 一般質問 特別企画2

SDGs計画策定

Q 「SDGs」に特化した、実施計画を作る考えはあるか？

A 町長

町の「地域経営計画」は、持続可能な町づくりに取り組んでいる。「SDGs」に特化した実施計画を策定はせず、地域経営計画の後期計画策定に合わせ、「SDGs」を関連付け、国際的な課題認識の視点を持ち、政府方針と地域計画の整合性を図っていく考えでいる。

SDGsの住民理解

Q 町民へ、SDGsの理解促進につながる周知は考えているのか？

A 町長

SDGsの理念を、先駆的に取り組んでいる「地域経営計画」の理解促進が肝心であり、結果SDGsの理解促進につながるかと考えている。

教育による意識醸成

Q 学校教育で、SDGsに対する知識醸成を取り組んでいますか？

A 教育長

各学校では、様々な学習時間を通じ持続可能な社会の構築に向けた教育を実践している。今後も教育活動を継続し、「持続可能な社会の創り手となる子ども達」を育成していく。

自然環境保全に関する施策展開を

【町長】意識醸成に努める



環境保全×観光施策 環境保全への課題

Q

近隣市町と連携し、「広域連携環境保全として、エコツーリズムなどの観光施策を取り入れ、環境保全と自然の魅力発信に繋げてはどうか？

A 町長

現在、塩谷郡市町と県で連携し「たかはら山麓水街道事業」や那須烏山市と連携した観光協会主催の「たかポタ」を行っている。このような連携事業を通じ、広域的な豊かな自然環境や魅力に触れ、環境保全の意識醸成に努める。

Q

生物が多く住む里山や河川など、高齢化等で整備や管理ができない方や場所に対し、人・物・金・情報を提供する考えはあるのか？

A 町長

高齢化による、整備・管理が難しくなる事は、町全体で考えないといけない課題である。現在、草刈り機貸出等の物資提供や、河川愛護に係る補助金などがあり、今後も継続していく考えでいる。



今年の「たかポタ」参加者に本町の魅力を感じていただいた。

問 今後の「土づくりセンター」の運営は 答【町長】簡易的な施設の建設を進めていく方針



澤畑 宏之 議員

土づくりセンターの
運営はいかに

Q 今後、土づくりセンターの運営における採算性は？

A 町長

町は、平成12年から循環型社会の構築を目指し行ってきた事業の取り組みを、今後も継続すべきと考えている。

平成31年3月の、建設産業常任委員会と議会にて、「土づくりセンター」存続に関する陳情」等が採択されたことや、視察等を行った結果、維持管理費の縮減が図れる施設整備に目的が立った事などから、専門的な知見を有したコンサルタントの意見を参考にしながら、「簡易的な施設」の建設を進めていく方針である。

有機肥料のブランド化

Q 土づくりセンターで生産される「たんたんくん」のブランド化を？

A 町長

平成19年4月に「たんたん農産物認証制度」を創設したが、生産者の方からの申請は1件もない状態であった。

その一方で、枝豆部会やナス部会が独自の基準を設け、市場関係者や消費者に認められていることから、今後の状況に即した側面的支援を行っていく考えでいる。



コンサルの結果はいかに(土づくりセンター)

問 学童保育の受け入れ時間の拡充を 答【教育長】ニーズ対応はできている



児童館で行われている親子交流会の様子

安心して預けられる学童に

Q 学童保育中にトラブルがあると聞か、指導者による保護者、児童への対応状況と対策は？

A 教育長

現在、学童保育は10ヶ所、448名のお子さんを預かり、トラブル等も時々発生しているが、「事故対応マニュアル」に基づく安全点検を実施する等、未然に防ぐ為の対策をしている。

また、配慮が必要なお子さんを預かる場合は、保護者同意のもと、小学校や幼稚園・保育園などと連携し、安全な保育を行っている。

保護者への対応は、年3回の学童保育内研修等で職員の質を高めることや、夏休みに保護者も参加する交流会の開催等を通じて、保護者との信頼関係構築に取り組んでいる。

受け入れ時間は十分か

Q 利用者のニーズに応える為、受け入れ時間を拡充する考えは？

A 教育長

長期休業中の受け入れ時間は、朝は小学校の登校時間より早く、夕方は保育園の延長保育と同じ時間までカバーしている。

また、学童の送迎等にも利用できる、「ファミリースポーツセンター事業」も行っており、ほとんどのニーズに対応できていると考えている。

今後多くのニーズが恒常的にみられるようであれば、人材確保、運営費用の課題を含め、受け入れ時間の拡充を検討する。

問キリンビール所有地の企業誘致活動は 答【町長】職員の足で地道な誘致活動



齋藤 誠治 議員



今後、キリンビール、県、関係機関と連携し、状況に応じて情報の収集と交換を行い、情報の共有を図りながら、今までどおり町として出来ることを地道に続けていく。

また県では、近年、関西圏からの引き合いや相談が増えており、町も大阪で開催した起業立地、魅力発信セミナーに出席し、関西圏での誘致活動も行った。



撤退から10年、跡地はそのままでもいいのか？ (写真：たんたん祭り)

また、毎年町長室で面会し、情報交換等、話し合いの場を設けている。内容の詳細は、町、キリンビール、引き合い相談があった企業とで、守秘義務が課されており、一切公表はできない。

Q 誘致活動の取り組みと、今後の方策は？

A 町長

キリンビールと連絡調整のもと、許可の範囲で、リーフレット等を製作し、首都圏での企業立地フェアや、企業誘致セミナー等に出展するなど、職員の足で地道な誘致活動を行っている。

Q 今年、キリンビールとの間でどのような話し合いを行ったのか？

A 町長

個別案件の報告や交渉記録、キリンビールからの情報提供を、その都度担当課から報告を受けている。

本町に企業は来るのか

キリンビールとの協議

問小中一貫教育の取り組みは 答【教育長】小中学校が



同じ目標をもって推進



児童と生徒の楽しい交流活動

これは、小学校と中学校で、学ぶ内容に配慮したカリキュラムの作成や指導を行ったことで、理解度が向上した結果と捉えている。

各教科の系統性、連続性を持たせたカリキュラムや、指導計画の作成、小中学校の児童生徒の交流活動、教職員の授業研究・合同研修、外国語で中学校教員の小学校への乗り入れ授業などを実施してきた。

Q これまで実施した取り組みと、その効果は？

A 教育長

小中一貫教育の実績

Q 今後、更に充実させるため、新たな方針や学校と地域の連携強化を図るための方策は？

A 教育長

本町の教育は小中一貫教育を軸に、知・徳・体のバランスがとれた教育活動が展開され、今まで以上に地域住民や保護者の協力が必要であり、学校と地域が、より連携した形で小中一貫教育を進めていく。

今後の方策



阿久津小学校建設から5年 調査結果の内容を検証

答【町長】瑕疵責任以上の対応



横須賀忠利 議員

契約

校舎は大丈夫か？

Q

建設から5年経つた今、何のために調査し、また結果に対し更なる調査を行うのか？

A

町長

これまでの点検等で、不具合事例が指摘されてきたことから、専門的知識を有する有資格者による「書類調査」及び「現地調査」を依頼した。

指摘項目に対して、技術的に判断し、施工上の瑕疵の有無を検証する目的で実施した。

調査結果に対し、同様の目的で、更に調査を行う考えはない。

責任の明確化へ

Q

監理業務分掌区分の責任範囲が、不明確とあるが、その理由は？

A

町長

監理業務を発注する場合、県の取り扱いに準じ、業務請負契約書を用いて契約をしている。

その際、特記仕様書にて監理業者の業務範囲と町と監理業者の業務責任区分を明記している。

有資格者からは、この取り扱いに問題ないとしたが、アドバイスとして「業務責任の区分に具体的な業務内容の明示や、当該工事の個別事情に合わせた「監理方針書」を作成することで、より責任範囲を明確にすることができるといふことで、不明確と表記された。

瑕疵担保の範囲

Q

工事請負契約書の内容を、施工業者が遵守しているとの判断だが、その根拠は？

A

町長

有資格者による調査方針の1項目に、「瑕疵担保は工事請負契約書第45条に準拠する」とし、施工上の瑕疵責任の存続期間が防水工事等を除き2年間、工事受注者の故意や重大な過失で生じたものは10年間とされている。

施工業者、監理業者は、半年・1年・2年点検、そして今回の調査の度に、契約約款上の瑕疵責任など、それ以上の対応を頂いていると認識している。

今後、契約約款上の瑕疵責任はともなうらえらると認識している。

瑕疵の現象

Q

施工上の瑕疵責任で、「工事受注者の故意や重大な過失によって生じたもの」とは、どのような事か？

A

町長

構造体力上、主要な部分における「ひび割れ、欠損等」や、雨水の侵入を防止する部分（屋根、外壁、開口部）の「屋内への雨漏り」などである。

町対応の不具合

Q

町負担で「補修・改善すべき不具合」とは、どのような内容なのか？

A

町長

調査報告書の判定Cにある「経年相応の不具合」として補修・改善すべきもの「14箇所、主にコーキングやシールの劣化部分の補修である。



児童にとって最高の学舎となっているのか？



第3者による調査状況
本町の「復興のシンボル 阿久津小学校」は、学校機能を果たしているのか？

問 電動車で、ゆっくりと本町の自然空間へ

答【町長】本町の田園風景は、貴重な観光資源



小林 栄治 議員

景観

自然活用の施策は

Q 本町の豊かな自然空間を活用する、「グリーンツーリズム」のような方策を考えているのか？

A 町長 「来て見て住んでたかねざわ」ライフ創造事業や、「ファーマーズツアー」で本町の美しい自然風景をバスで眺め、本町の魅力を体感してもらった。また、自転車イベント「たかポタ」は、稲刈りの進む田園風景の中をゆっくり走行するイベントで、秋の風物詩として定着してきた。

さらに、「道の駅たかねざわ 元氣あつぷむら」は、滞在型宿泊施設として、グリーンツーリズムの拠点になることを期待している。

9月定例会 委員会審議 議会報告会

本町の魅力を堪能

Q 「元氣あつぷむら」は道の駅に登録され、「立ち寄り型から滞在型の誘客を目指す」観点から、環境政策と連動し、ゆっくりと本町の自然空間を堪能してもらうため、「電動車」の導入を検討しては？

A 町長 本町の緑豊かな田園風景は、都市部に住む方々から求められる貴重な観光資源で、その魅力を発信することは、都会から人を呼び込む重要なポイントである。しかし、長期休暇が取りにくい利用者側の視点や、採算面からも深く検討しなければならない。その上で、新たな「元氣あつぷむら」の事業として捉えた場合、体験の場としての機能も期待しているが、「電動車」の提案は1つの案として、新たな指定管理者に情報提供する。



各地でグリーンスローモビリティが走りはじめている

問 農業は、命の源泉

答【教育長】農業体験は

生きる力に繋がる

体験

教育における農業

農業体験の充実

Q 農業は、命を育む要因が多く含まれているが、農業の果たす教育効果をどのように捉え、どのように活かそうとしているのか？

Q 本町版「農業体験プロジェクト」が教育現場にあつて良いと考えるが、夏休みに体験させることを具体的にできないか？

A 教育長 現在の子ども達は、自然の中で豊かな体験ができる機会が限られており、農業体験活動は生きる力の育成に非常に重要と捉えている。今後、地域の方々の協力を得ながら、児童の実態や地域の特性を踏まえた農業体験活動を実施していく。

A 教育長 農作物を育てる農業体験の場として、「親子どろんどろん」や児童館の事業で「Go!Fun! たかねざわプロジェクト」を実施している。今後、学校外での体験の場を充実すべく、夏休みに行っている「たんたん探検隊」の講座に、夏野菜の収穫体験などを開設していく考えでいる。

特別企画1 一般質問 特別企画2



問町は、先頭に立って敷地内禁煙を

答【町長】10月から敷地内全面禁煙



森 弘子 議員

健康

敷地内全面禁煙に

Q

健康増進法の一部改正により、本年7月1日から行政機関は、原則敷地内禁煙が義務付けられたが、今後の禁煙対策は？

A

町長

受動喫煙防止をより強く進めるため、令和元年10月1日より、全ての「第一種施設」で敷地内全面禁煙とする。

「第二種施設」のちよつ蔵広場と道の駅元気があつぷむらは、敷地内禁煙から除外する。

教員の禁煙対策を

Q

小中学校教員の敷地外喫煙が見受けられ、児童生徒を指導する立場上、良い光景ではない。教職員の喫煙状況と、今後の対策は？

A

教育長

学校敷地外で喫煙する教員は、現在13名いる。今後の対策は、本人の健康の為、禁煙の推奨を

図り、また禁煙教育を進める教員の立場から、喫煙に対し考えるよう、校長会を通じて取り組む。



本庁舎敷地内で閉鎖された喫煙所

自治会加入率UPへ

問自治会加入率向上の取り組みは

答【町長】自治会活動の支援を

Q

自治会加入率の減少をどのように考えているのか？

A

町長



自治会主催のお祭り

区長制度の廃止を

Q

三重県名張市の「区長制度」廃止や、「ゆめづくり地域予算制度」の導入を

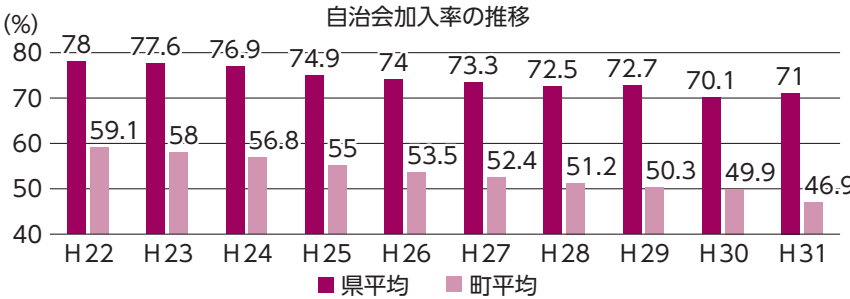
A

町長

区長制度は、地方公務員法等の改正で、令和2年4月以降、見直さなければならぬ。

現在、区長会で自治会を単位とした新たな連合組織の立ち上げ等の検討を行っている。

名張市も参考にし、地域の課題は地域で議論し、新たな連合組織と各自治会活動の支援を行う。



町広報紙で自治会に関する記事掲載や加入促進チラシを配布。また、区長会と連携し自治会活動の支援を実施している。



名張市の「ゆめづくり地域予算制度」

9月定例会 委員会 審議会 報告会 特別企画1 一般質問 特別企画2



RUN伴チームたかねざわ
高根沢エリア長 黒崎潤さんの想い
高根沢町で開催するのは今年で3回目。
「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を自分なりに言い換えると、「誰でも安心して暮らせる町」だと思います。
RUN伴を通して、多くの同志が集まり協力し、多くの繋がりができました。
今後、更に繋がりを広げながら、一人一人の思いやりを高根沢町全域に届け、いずれは誰もが暮らしやすく、思いやり溢れる町になることを願います。



RUN伴2019 Team Takanezawa
「福祉 高まる たかねざわ」

9月21日(土)に催された「RUN伴inたかねざわ」は、今年で3回目の開催。
町内広域コースと市街地コースをオレンジ色のTシャツ着けたランナーが思いを込めて駆け巡りました。

「RUN伴とは
認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して」
これを合言葉に、「NPO法人認知症フレンドシップクラブ」が2011年に主催したことが始まりです。「認知症の人に何らかの支援をするのではなく、認知症の人と一緒に何か目標を達成したい」との願いから、認知症の人もそうでない人もみんなでタスキをつなぎ、全国を縦断します。



RUN TOMO TEAM TAKANEZAWA

加者の皆さん
と想いを共
有・共感し、
人・自然・郷
土に思いやり
を持てる町を
目指し、議会
としても取り
組んでいきたく
思います。

この度のRUN伴開催にあたり、町議会としても後援をさせていただきました。
関係者や参

思いやり高まる 町づくりに向けて

全国各地の医療・福祉関係者や有志が、この企画に賛同して集まり、今では、各都道府県ごとに実行委員会を構成し、共同で開催するイベントとなっています。
高根沢では、2017年から参加し、多くの方にご理解とご協力をいただきながら、毎年開催しています。
今年は、町内福祉施設や観光拠点、事業所などを巡りながら、より多くの方に「認知症」に対する理解を広めるため、盛大に開催されました。



∞プロフィール∞

藤田 町子

お住まい：飯室
(出身地 真岡市)

趣味：クラフト作成
職業：主婦

オカリナグループを結成し、各地でボランティア活動するその想いを聞いてみました。

広報委員の突撃インタビュー
あなたの声を町政に

オカリナの音色で
みんなに幸せと
癒しを届けたい



オカリナのおかげで出会えたメンバー

Q オカリナグループを結成されたキッカケと、グループ名の由来は？

A オカリナ奏者で有名な「宗次郎」の演奏を聴いて、感動を受け、「私も吹いてみたい」と思いオカリナ教室に入会し、同時期に入会したメンバー6名でグループを結成しました。
グループ名は「コロポックル」といい、由来は、「アイヌの伝説でフキの下にいる何事にも負けない強い心を持つ妖精のことです。私達もこの妖精のような心で、心地よいハーモニーを奏でることができればと思います。届けました。
興味のある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか？
連絡先（藤田）
090-4821-4237

Q オカリナはきれいな音色ですが、楽器の発祥や特徴は？

A オカリナは19世紀後半に、北イタリアで作られた、素焼きの陶器でできた楽器で、イタリア語で「ガチョウの子供」を意味します。
音色は、素材や空洞・歌口の形状で多少違いがあります。



Q 演奏をされていて、どんな時に満足感や喜びがありますか？

A 全員の音がひとつになった時、何ともいえない喜びを感じます。
また、悔いのない演奏ができた時は、演奏後のお茶会で、メンバーと喜びを分かち合います。



素敵なハーモニーで魅了（上高敬老のつどい）

Q ボランティアで、社会貢献をしていますと聞いていますか？

A 高根沢町内をはじめ、宇都宮市や壬生町の施設や学校などで演奏していますが、ご依頼があれば何処でも行きますよ。



皆さんに喜んでもらえる演奏のために（練習風景）

Q このような文化活動は大変重要だと思いますが、町に望むことはありますか？

A 指導者を増やし、誰でも参加でき、自分の趣味を活かして、地域が盛り上がるのが大切だと思います。
私の見ている範囲では、子ども達と地域の関わりはあるようですが、昔の遊びを教える等、もっと交流を増やせる取り組みがあった方がよいと思います。

取材を終えて、藤田さんたちは、町内で年3〜4回のボランティア演奏を行っているとのこと聞き、自分たちの特技を活かして地域貢献を果たしていることに、感動しました。
私たち議会も、本町の発展に向けた活動を精力的に行い、町民の負託に応えられるようにしていきます。

暮らしの政治をしてみよう
議会傍聴へ
お越しく下さい

次回の定例会は
12月3日～12日の予定。
日程詳細・議事録は、
町ホームページをご覧ください。

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は1月20日になります。

「議会だより」表紙写真募集

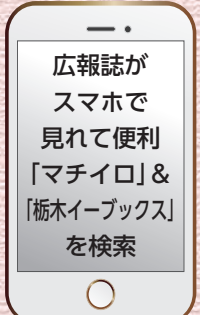
写真は町内のイベントや人物、風景を撮ったものをデータで提出してください。皆様のご協力をお願い致します。（データは返却いたしません）



マチイロHP



トチギーブックスHP



広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索